

**新指導要領地理Aを
どう活かすか？**


—新単元:「**自然環境と防災**」を
軸にした**地理再必修化**への戦略—




2010. 3. 15
日本学術会議 地理教育専門委員会
伊藤 智章(静岡県立吉原高等学校)

本日の報告


1. 地理教育の危機
2. 再興の切り札は「**地理A**」と「**防災**」
3. 新指導要領「完全実施」まで
3年間のアクションプラン
4. 10年後の「地理再必修化」に向けて



地理再必修化

1. 危機に立つ地理教育

①地理が学べない！



静岡県の公立高校(109校)。
文系で、地理が開講されていない学校
26校(23.7%)

(2009年度。学校要覧より報告者調べ)

「2番手校」以下では、地理を学べない
地域拠点校9校……文系地理開講率


中堅私立大学への 進学層	100%
準進学校10校……	50%
その他普通科校……	68%
職業校・総合校……	50%

「ジモト」の活性化
の中心を担う層


文系で地理を取れない理由は？
地理教員が0人or 1人
…**理系**を担当するのが精一杯

「進学校」を自認する学校では
「地理A」を開講したがない。
受験に使わない(使えない)科目

文系の選択科目で
「地理」が消滅



負のスパイラル




「地理」の教育を受けた教員志望者が減る
正採用少なく、「**講師不足**」も深刻
(専門外の間人が、嫌々教えるくらいなら…)

日本史必修 (東京都・神奈川県)
世界史必修 (国)


↓

各地に波及すれば、
 高校地理教育は絶滅する？
断固阻止！すべき？できる？



2. 地理再興の切り札

新「**地理A**」(2単位)



旗艦単元は「**自然環境と防災**」

我が国の自然環境の特色と
自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内に見られる自然災害の事例を取り上げ、

地域性を踏まえた対応が大切であることについて考察させる。
 (平成21年告知)

世論の動向を反映した目標設定

わが国……国内重視
かかわり……「完璧な防衛」ではなく、「生活に織り込み、いなす」知恵
地域性……地方の多様性
 郷土への愛着

新単元:「**自然環境と防災**」

- 脅しの防災教育
- 事後解説の防災教育

→ 自然に対して無力だった先人達の「いなす知恵」「復興のドラマ」を**視覚的に**学び、考える

日本史教育との高い親和性を強調

「**全部学ぶ**」履修モデルの定着

高校1年
(必) 地理A(2) **(必)** 日本史A(2)

高校2年
(必) 世界史AorB(2 or 4)
(選) 地歴B科目(4)

高校3年
(必) 現代社会or政治経済 **(選)** 地歴B科目

センター地歴2科目化、地歴&公民W受験の定着で現実性あり。

3. 「完全実施」まで3年間の
アクションプラン

①日本史必修化
⇒抵抗するのではなく、**便乗**する。

②世論を味方につける
⇒保護者や地域の理解
⇒「未履修」から「**非履修**」問題を提起する。


③大学入試を工夫する
(地歴2科目、AO・推薦)

④地理好きの高校生の発表・
交流を促す。
(学会の高校生セッション
地理オリンピックなど)

事例紹介

① **地理ゼミ**

地理非履修者を対象
とした自主ゼミ




地理を履修出来ない文系生徒

↓

地域調査のノウハウを伝授して
地図コンテストや学会発表の経験

↓

大学のAO入試・推薦入試で
進路実現
地理は使える！面白い！



自己満足で終わらせないために

調べた事を発表する



↓

地理的な考え方
(分布、変遷、背景)を
身につける(質問攻め)

提出・展示する

↓

公の場で発表する
経験を積む(公式戦)

机上の議論

⇒現地を一緒に歩いて
実地指導







ただいま2年目……。

身の回りの環境地図展……入賞
 マイタウン・マップコンクール……入賞
 名古屋地理学会発表

国公立大学、有名私立大学(AO・推薦・一般も)に多数の合格者

地理学科への進学者も登場……!

②防災を意識した
 地理教育教材の開発

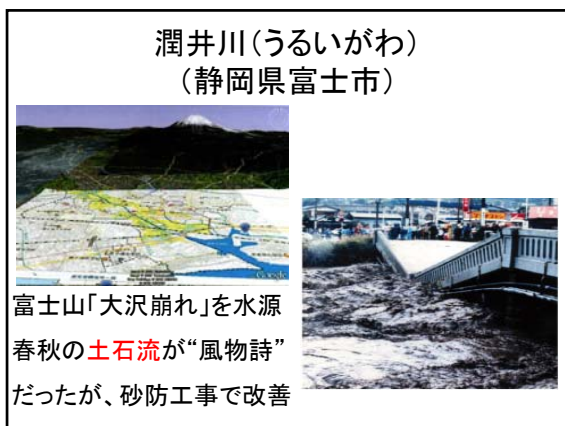
(1)地域の「知恵」に学ぶ
 (2)地図を描いて考えさせる。

「重ねる」「比べる」「時間の流れを追う」

↓

GIS等を活用して視覚的
 体験的な教材を作る

学校教育教材 & 社会教育教材としての活用
 (町内会をサポートして、「地理」の応援団に)



田宿川 (たじゆくがわ)
(静岡県富士市)

工場排水が流れるどぶ川
→**七夕豪雨(1974)**
をきっかけに川さらい
→水辺の環境の整備
市内随一の清流に。
今も小規模な氾濫あり
→地域の水防活動・イベント
小中学校の環境学習

静岡新聞 2010. 3. 9

⇒ 高校でどう発展させるか？

4. 10年後の 「地理再必修化」にむけて

①新「地理A」の活用で地理をPR
(特に「**自然環境と防災**」の教育効果)

②カリキュラムの提案や世論の
支持で「**実質必修化**」を進める

平成30年版「学習指導要領」で地理必修

「要望」(願望)ではなく
「**予定**」にする

教員サイドの都合で地理が
履修出来ない生徒

課外活動で需要を掘り起こす
自主活動を評価する入試の充実
地理学科の門戸を拡げる

「地理を(も)教えられる」 人材の大量育成の必要性

- ・2023年(次々学習指導要領実施時)の**U-30**若手教員の育成を視野に。
- ・**大学・大学院での地理教育**の充実
- ・講師制度を活用した**OJT**
- ・複数科目の指導経験者の**積極採用**

新「**地理A**」は高校地理教育を救う。

防災を地理Aの旗艦分野に。

再必修化をにらんだ人材育成を！

おわり